

佐藤 七望 さん

秋草学園福祉教育専門学校 介護福祉科

1年生（2020年3月末時点）



現在、学校で取得を目指している資格や、そのきっかけを教えてください

以前より、祖父母や祖父母の友人などと接する機会が多くあり、高齢者と関わるのが好きになりました。そのため、自然と「将来は高齢者に関わる仕事がしたい」と思い、介護の道を目指すようになりました。

初めは漠然と「高齢者の支援といえば介護だろう」という気持ちで介護福祉士を目指しましたが、専門学校では、身体的な支援だけでなく、コミュニケーションによる精神的な支援や家族の支援が必要だということを学んでいます。理想の介護福祉士を目指し、日々勉強に励んでいます。

津久井督六記念財団を知ったきっかけや、イベントに参加した印象を教えてください

津久井督六記念財団のことは専門学校の先生の紹介で知りました。津久井督六記念財団の奨学金は、貸与型の奨学金とは異なり、卒業後の返済が不要な給付型であることに魅力を感じました。また、先生からのお声掛けということもあり、滅多にない機会だと思いました。

奨学生になってからは、財団の主催するイベントにも参加させていただきました。同じ志を持つ奨学生との交流を通して、介護についてより深く理解することができ、また仲間の大切さを学ぶことができました。

津久井督六記念財団の奨学金がどのように役に立ったか教えてください

妹が進学を決め、学費の支払いに不安を感じていました。しかし、津久井督六記念財団の奨学金のおかげで、学費を気にせず学業に専念できるようになりました。

また、将来の生活を考え、車の免許を取りに教習所へ行くこともでき、社会に出た時や就職のための将来の準備をすることができました。

奨学金をいただくことで、自分の夢を応援してもらっている気持ちになり、「より一層勉学に励もう！」という前向きな考えも生まれました。仲間と切磋琢磨しながら楽しい学生生活を送っています。

今後の進路や目標、将来の夢などを教えてください

介護福祉士になることが最初の目標です。

実習の経験から、自分の強みであるコミュニケーション能力を生かし、認知症に対応している施設で働きたいと思っています。祖父母が認知症になっても慌てずに正確な対応をするために、認知症ケア専門士などの資格も取りたいと考えています。実習を通して得た、「側にいるだけで安心できる」という気持ちを忘れず、私の理想である、利用者やその家族の心の支えとなる、信頼される介護福祉士になれるように頑張ります。

また、介護福祉士として現場で経験を積み、社会福祉士にも挑戦してみたいです。

これから津久井督六記念財団奨学生の応募を考えている方へ一言

津久井督六記念財団の奨学金は給付型であり、経済的な支援を受けられるだけでなく、奨学生が集まるイベントを開催して下さるため、介護についての理解を深めたり、仲間の大切さを学ぶことができます。イベントを通して、自分の視野を広げることもできるかもしれません。